

令和5年度

十津川村教育委員会
点検・評価報告書

令和7年2月12日

十津川村教育委員会

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条第 1 項及び第 2 項の規定に基づき、令和 5 年度十津川村教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況点検評価の結果について、報告いたします。

令和 7 年 2 月

十津川村教育委員会

目 次

はじめに

I. 点検・評価実施要領	4
II. 教育委員会の運営及び活動状況	7
III. 事務事業評価シート	
【学校教育に関すること】	
1. 地域連携教育	11
2. ICT 教育・GIGA スクール構想事業	12
3. 特別支援教育	13
4. スクールカウンセラー派遣事業	14
5. 外国青年招致事業（ALT）	15
6. 森林環境教育	16
7. 食育	17
8. サマースクール事業	18
9. 通級指導教室	19
【学校教育施設の管理運営に関すること】	
10. 学校施設整備事業	20
11. 厨房機器整備事業	21
12. 教職員住宅整備事業	22
【教職員・児童生徒の保健安全に関すること】	
13. 通学路	23
14. 学校保健事業	24
【子育て支援に関すること】	
15. 学校給食無償化事業	25
16. 通学費補助事業	26
17. 修学旅行費補助事業	27
18. にこにこキッズルーム	28
19. 就学援助	29
20. 奨学資金貸付事業	30

【社会教育・生涯学習に関すること】	
21. 社会教育委員	31
22. 乳幼児家庭教育学級	32
23. 新十津川町との交流事業	33
24. 二十歳を祝う会	34
25. 公民館事業	35
26. のら文庫	36
27. 社会教育関係等団体指導育成事業	37
【文化施設の管理運営に関すること】	
28. 歴史民俗資料館	38
29. 教育資料館	40
30. 山村生産用具収蔵庫	41
31. むかし館	42
【文化財の保護に関すること】	
32. 文化財審議委員	43
33. カモシカ保護事業	44
34. 文化財保存整備事業	45
【歴史・文化・芸術の振興に関すること】	
35. 歴史・文化講座	46
36. 文化祭	47
37. 村史編さん事業	48
【社会体育施設の管理運営に関すること】	
38. 体育文化センター	49
39. 十津川村民ひろば	50
【スポーツの振興に関すること】	
40. スポーツ推進委員	51
41. スポーツ・文化大会等出場者奨励事業	52
42. チャレンジスポーツ in 十津川	53
43. 駅伝大会	54
IV. 点検・評価のまとめ	55

1. 点検・評価実施要領

1. 趣旨

本点検・評価は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条第1項及び第2項の規定に基づき、教育に関する事務の管理及び執行の状況について自己点検及び評価を行い、より効果的かつ効率的な教育行政の推進に資するとともに、村民に対する説明責任を果たしていくことを目的とする。

2. 点検・評価の対象

- (1) 十津川村教育委員会の運営及び活動状況
- (2) 第5次十津川村総合計画(平成29年度～令和8年度)及び十津川村教育大綱(令和2年度～令和6年度)に基づく下記の教育委員会所管の令和5年度の主要な事務事業

【学校教育に関すること】

1. 地域連携教育
2. ICT教育・GIGAスクール構想事業
3. 特別支援教育
4. スクールカウンセラー派遣事業
5. 外国青年招致事業(ALT)
6. 森林環境教育
7. 食育
8. サマースクール事業
9. 通級指導教室

【学校教育施設の管理運営に関すること】

10. 学校施設整備事業
11. 厨房機器整備事業
12. 教職員住宅整備事業

【教職員・児童生徒の保健安全に関すること】

13. 通学路
14. 学校保健事業

【子育て支援に関すること】

15. 学校給食無償化事業
16. 通学費補助事業
17. 修学旅行費補助事業
18. にこにこキッズルーム

19. 就学援助
20. 奨学資金貸付事業

【社会教育・生涯学習に関すること】

21. 社会教育委員
22. 乳幼児家庭教育学級
23. 新十津川町との交流事業
24. 二十歳を祝う会
25. 公民館事業
26. のら文庫
27. 社会教育関係等団体指導育成事業

【文化施設の管理運営に関すること】

28. 歴史民俗資料館
29. 教育資料館
30. 山村生産用具収蔵庫
31. むかし館

【文化財の保護に関すること】

32. 文化財審議委員
33. カモシカ保護事業
34. 文化財保存整備事業

【歴史・文化・芸術の振興に関すること】

35. 歴史・文化講座
36. 文化祭
37. 村史編さん事業

【社会体育施設の管理運営に関すること】

38. 体育文化センター
39. 十津川村民ひろば

【スポーツの振興に関すること】

40. スポーツ推進委員
41. スポーツ・文化大会等出場者奨励事業
42. チャレンジスポーツ i n 十津川
43. 駅伝大会

3. 点検・評価の方法

- (1) 事務事業毎に事業コスト・取組内容及び成果・課題を「事務事業評価シート」に取りまとめ点検・評価を行う。
- (2) 作成した「事務事業評価シート」をもとに有識者から意見を聴取する。
- (3) 有識者の意見を受けて、次年度以降の事務事業の方向性を決定する。

4. 点検・評価に関する有識者の概要

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条に基づき、十津川村教育委員会が行った事務の管理及び執行の状況についての自己点検及び評価に対する意見を徴するため、十津川村教育委員会点検・評価に関する有識者を次の者に委嘱する。

奥田 智（日本大学経済学部教授、元奈良教育大学准教授）

5. 点検・評価報告書の提出

十津川村教育委員会は、「十津川村教育委員会点検・評価報告書」を村議会へ提出する。

6. 点検・評価結果の公表

十津川村教育委員会は、点検・評価の結果を村のホームページで公表する。

II. 教育委員会の運営及び活動状況

(1) 教育長及び教育委員について

教育長及び教育委員は下表のとおりです。

職名	氏名
教育長	中井 基雄
教育長職務代理	松田 充弘
委員	更谷 孝澄
委員	野長瀬 譲
委員	玉置 真知子

(2) 教育委員会議及び審議状況について

令和5年度は合計で12回の会議を開催し、審議事項11件、協議報告事項27件について審議・協議報告を行いました。内容は下表のとおりです。

開催日	審議事項	協議報告事項
4月25日(火) 第1回定例会議	なし	・村史「歴史資料編(近世2)・自然資料編」の刊行について ・新十津川町児童生徒・教職員母村訪問研修団について
5月24日(水) 第2回定例会議	・奨学金の貸与の可否について	・大峯奥駈道(玉置神社境内)石垣一部崩壊について ・新十津川町開町記念式典について
6月27日(火) 第3回定例会議	・令和5年度要保護及び準要保護児童生徒就学援助費の認定について	・外国語指導助手(ALT)任期満了に伴う交代について ・6月30日付人事異動について ・新十津川町児童生徒・教職員母村訪問研修について
7月25日(火) 第4回定例会議	なし	・第67回奈良県へき地教育研究振興大会(曾爾村・御杖村大会)について ・学校訪問について ・第2回社会教育委員会議の内容及び第43回十津川村文化祭について
8月28日(月) 第5回定例会議	なし	・第85回(令和13年)国民スポーツ大会奈良県開催の競技会場の候補地の要望について ・第3回チャレンジスポーツin十津川について ・コロナに負けない健康づくり事業について
9月25日(月) 第6回定例会議	なし	・令和6年二十歳を祝う会について ・第3回社会教育委員会議の内容及び第43回十津川村文化祭について

開催日	審議事項	協議報告事項
10月25日(水) 第7回定例会議	なし	・令和6年二十歳を祝う会について ・玉置神社神輿殿改修工事及び社務所及び台所改修工事について ・第70回十津川村駅伝大会について
11月27日(月) 第8回定例会議	なし	・第4回社会教育委員会議の内容について ・令和6年二十歳を祝う会について
12月25日(月) 第9回定例会議	・令和6年度特別な支援を要する児童生徒について ・令和4年度十津川村教育委員会点検・評価報告書(案)について ・十津川村にここキッズルーム運営規程の一部改正(案)について	・第70回十津川村駅伝大会について ・第19回市町村対抗子ども駅伝大会について
1月24日(水) 第10回定例会議	・令和4年度十津川村教育委員会点検・評価報告書(案)について	・第5回社会教育委員会議の内容について ・第29回青年県外研修について
2月26日(月) 第11回定例会議	・十津川村要保護及び準要保護児童生徒就学援助費並びに特別支援教育就学奨励費に関する要綱の一部改正について	・総務文教常任委員会(2/15)について
3月25日(月) 第12回定例会議	・十津川村要保護及び準要保護児童生徒就学援助費並びに特別支援教育就学奨励費に関する要綱の一部改正について ・書籍等販売事務取扱要綱の一部改正について ・にここキッズルーム運営規程の一部改正について ・十津川村奨学金貸与規則の一部改正について	・第6回社会教育委員会議の内容について ・第19回市町村対抗子ども駅伝大会について

【教育委員会規則】

- 第1号(令和5年2月1日) 十津川村立学校の管理運営規則に関する規則の一部を改正する規則
- 第2号(令和5年3月1日) 十津川村教育委員会事務局職員の職の設置規則の一部を改正する規則
- 第3号(令和5年4月1日) 十津川村個人情報保護条例の施行に関する十津川村教育委員会規則

【教育委員会告示】

- 第1号(令和5年2月1日) 十津川村村立学校職員の公用車の使用に関する要綱
- 第2号(令和5年3月24日) 十津川村教育委員会書籍等販売事務取扱要綱の一部を改正する告示
- 第3号(令和5年3月24日) 世界遺産連絡調整会議運営要綱の一部を改正する告示
- 第4号(令和5年3月24日) 独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金取扱要綱

【教育委員会訓令乙】

○第1号（令和5年3月24日）十津川村教育委員会ハラスメントの防止等に関する指針

○第2号（令和5年7月25日）十津川村教職員安全衛生管理規程

(3) 教育委員会議以外の活動について

各種行事等に参加しました。主な内容は下表のとおりです。

活動日	内 容	参加者
4月7日（金）	十津川第一小学校入学式 十津川第二小学校入学式	教育長職務代理 教育長
4月10日（月）	十津川中学校入学式	教育長
6月19日（月） ～21日（水）	新十津川町開町記念式典	全教育委員
7月26日（水）	新十津川町児童生徒・教職員母村訪問 研修団歓迎会	全教育委員
9月25日（月）	十津川村総合教育会議	全教育委員
10月1日（日）	第3回チャレンジスポーツ in 十津川	教育長職務代理
10月7日（土）	十津川中学校体育大会	教育長職務代理
10月14日（土）	十津川第一小学校運動会	教育長
10月19日（木）	御所市教育委員及び事務局職員の学校 視察対応	教育長職務代理・更谷委員 野長瀬委員
10月21日（土）	十津川第二小学校運動会	教育長
10月27日（金）	第67回奈良県へき地教育研究振興大会 （曾爾村・御杖村大会）	全教育委員
10月31日（火）	学校訪問	全教育委員
11月3日（金）	十津川村文化祭	全教育委員
11月15日（水）	県市町村教育委員会連合会研修大会	教育長職務代理・玉置委員
1月3日（水）	二十歳を祝う会	全教育委員
1月6日（土）	第70回十津川村駅伝大会開会式	玉置委員
1月7日（日）	第70回十津川村駅伝大会	全教育委員
1月19日（木）	中高合同総合学習発表会	全教育委員
3月13日（水）	十津川中学校卒業証書授与式	教育長職務代理
3月21日（木）	十津川第一小学校卒業証書授与式 十津川第二小学校卒業証書授与式	教育長 教育長職務代理

III.事務事業評価シート

事務事業評価シート

学校教育に関すること

事業No.

1

事務事業名	地域連携教育
-------	--------

事業の目的	村内全教員で村の子どもの教育に取り組み、進んで社会を支えていこうとする気概と資質を身に付けた児童生徒を育てる。
事業の内容	<p>推進委員会の開催：年3回 事務局会議の開催：年8回</p> <p>【特別活動部会】小中高合同文化鑑賞会（高校・中学校・小学校の全員参加）を実施した。</p> <p>【生徒指導部会】各校の生徒指導の情報共有や共通課題を認識した。</p> <p>【総合学習部会】中高合同総合発表会を実施し、高校・中学校よりそれぞれの取組を発表した。</p> <p>【各教科部会】数学・英語部会では、高校教員による中学校でのTTの実施と互いの授業見学・意見交流を、体育部会は体力テスト支援事業として授業を行い、理科部会では、授業や実験観察に関する取組や課題についてオンラインでの意見交換を行った。</p> <p>【小学校-高校連携】高校教員による小学校授業の実施や補助を通して、小学校教員との意見交換を行った。</p> <p>【小中学校教員研修会】講師を招聘して合同研修を行い、教員のスキルアップを促した。</p>

		令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
事業コスト （単位：千円）	事業費	818	883	1,000
	特定財源	0	0	0
	一般財源	818	883	1,000

区分	単位	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）	令和6年度（見込）	
取組内容及び成果	合同文化鑑賞会	人 253（小中高全員）	211（小中高全員）	110（中高全員）	
	小中高生徒交流会	人 20（オンライン交流）	小中生31人が十津川高訪問	小中生による十津川高訪問	
	中高総合発表会	人 150（中高全員）	中学生116・小6オンライン参加	中学生110・小6オンライン参加	
	合同体力テスト		一小+中、二小+高で実施	一小+中、二小+高で実施	
	防災教育		高校生による小中への出前授業	十津川高校体験会での高校生による授業	十津川高校体験会での高校生による授業
	学力向上対策		学力テスト及び学習プリント フォーサイト手帳	学力テスト及び学習プリント フォーサイト手帳	学力テスト及び学習プリント フォーサイト手帳
事業の課題	各活動部会の意見交換や地域連携に関わる活動が盛んに行われて来ている。小中高全員による合同文化鑑賞会について、会場周辺での交通に関する安全確保の問題と、小1～高3すべてがおおむね満足できる鑑賞内容の検討が課題となるため、次年度より小学生と中学生とを分離した形態に戻した取り組みを検討していく。小中高すべての教員対象とした研修会は、今後も継続することで、各種内容に関わる指導力向上を目指したい。子どもの基礎学力定着、学力向上のためのアイテムとしてのICTの利活用に関する情報共有や研修などの取組が継続的に必要である。				
事業の評価	B	<p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>			

有識者の所見	<p>村内全教員で村の教育に取り組むため「推進委員会」「事務局会議」及び「特別活動部会」「生徒指導部会」「総合学習部会」「各教科部会」「小学校-高校連携」などが設置され、十津川地域における連携教育を推進する組織が整えられています。令和5年度において小中高合同文化鑑賞会・中高合同総合発表会などが開催されています。安全確保の問題、鑑賞内容、小学生と中学生とを分離した形態等の課題はあると思いますが、指導力向上及びICTのスキルアップなどの教員研修もより一層充実し、村内全教員で連携し村の子どもの教育により一層の取り組まれることを期待します。</p>
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 終了・完了

事務事業評価シート

学校教育に関すること

事業No.

2

事務事業名	ICT教育・GIGAスクール構想事業
-------	--------------------

事業の目的	1人1台端末の利活用を促進し、文部科学省が進めているGIGAスクール構想に沿った、児童生徒の個別最適な学びと協働的な学びを実現する。
事業の内容	ICTを活用した児童生徒の学力向上及び情報活用能力の育成 教員のICTを活用した指導力の向上 令和5年度事業内訳：第二小アクセスポイント増設工事 1,780,460円 校務用ノートパソコン整備 3,594,064円 (第一小：14台、第二小：15台、中学校2台、教育課：1台) chromebook購入(8台) 526,240円 Googleライセンス使用料 1,837,660円

事業コスト (単位：千円)		令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(予算)
	事業費	768	7,739	2,019
	特定財源	0	0	0
	一般財源	768	7,739	2,019

区分	単位	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(見込)	
取組内容及び成果	校内LAN工事	校	0	0	0
	chromebook整備	台	0	0	0
	職員室等PC整備	台	4	32	0
	chromebook購入	台	4	8	3
	(故障による)				
	第二小アクセスポイント増設	千円	—	1,781	—
	googleライセンス			1,838	1,838

事業の課題	本事業を担当する教育委員会事務局職員並びに、各校の担当教職員にも専門的な知識や高い技量が求められる。そのため、それぞれの担当者の育成及び、専門的な技量アップに努める必要がある。
-------	--

事業の評価	B	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である
-------	----------	--

有識者の所見	国の事業等を活用し、アクセスポイント増設工事、校務用ノートパソコン整備、chromebook購入など村内学校の情報機器の整備が進められています。機器の整備と共に、年々進化する情報機器を使いこなす教職員を育成することも重要です。教職員対象の研修会もより充実されることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

学校教育に関すること

事業No.

3

事務事業名	特別支援教育
-------	--------

事業の目的	<p>【教育相談事業】配置した教育相談員の指導・助言を参考にして、県の高田子ども家庭相談センターや福祉関係の諸機関・行政・医療機関などと連携を図る。</p> <p>【特別支援教育就学奨励費】特別な支援を要する児童生徒等の保護者等の経済的負担を軽減するために必要な援助を行い、学校への就学を奨励するとともに特別支援教育の振興を図る。</p>
事業の内容	<p>【教育支援委員会】特別な支援を要する児童生徒等の適正な教育支援に関して審議を行う。 委員：任期2年、11名を委嘱（学識経験者・医師・行政機関・教育機関） 会議：年間3回開催</p> <p>【教育相談事業】（奈良教育大学：越野和之教授） 村立保育所（3カ所）・村立小中学校（3校）を訪問し、観察・助言・指導を行い、児童生徒等に関する特別支援教育や就学・修学を支援する。 （元大淀養護学校教諭：稲田ひろ子先生） 特別支援教育に関わる保育所員・小中学校教師への指導助言。</p> <p>【特別支援就学奨励費】 特別支援学級へ入級している児童生徒へ学用品費等を支給。</p>

		令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
事業コスト （単位：千円）	事業費	204	316	330
	特定財源	102	156	164
	一般財源	102	160	166

区分	単位	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）	令和6年度（見込）	
取組内容及び成果	児童数（知的）	人	2	4	4
	児童数（情緒）	人	19	15	13
	児童数（難聴）	人	0	0	1
	生徒数（知的）	人	2	1	2
	生徒数（情緒）	人	1	1	1
	教育相談訪問回数	回	16	16	16
	通級指導児童	人		11	11
	通級指導生徒	人		2	3

事業の課題	<p>・特別な支援を必要とする児童生徒個々に適した「学びの場」を提供するために、令和5年度より通級指導教室を新規開設した。今後も、教育支援委員会及び教育委員会において、本人保護者の願いを大切にしながらも、一人一人の障害の状態を分析し、その教育的ニーズを踏まえた「学びの場」を決定する。</p> <p>・学校現場における人手不足が課題となっており、支援員の確保が今後も求められる。</p>
-------	---

事業の評価	<p>A</p> <p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	<p>学識経験者・医師・行政機関・教育機関からなる「教育支援委員会」が設置され、児童生徒等の適正な教育支援に関して審議が定期的に行われています。また、「教育相談事業」として大学教員による訪問指導、特別支援学校元教員による特別支援教育に関わる保育所員・小中学校教員への指導助言、そして特別支援学級へ入級している児童生徒へ学用品費等の支給が行われています。また、特別な支援を必要とする児童生徒個々に適した「学びの場」を提供するために、令和5年度より通級指導教室を新規開設されています。これらの取組を高く評価します。支援員の確保する困難さもあると思いますが、今後もすべての子どもたちを大切に教育を進められることを期待します。</p>
--------	---

事業の方向性	<p><input type="checkbox"/> さらに重点化する</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する</p> <p><input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する</p> <p><input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する</p> <p><input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する</p> <p><input type="checkbox"/> 終了・完了</p>
--------	--

事務事業評価シート

学校教育に関すること

事業No.

4

事務事業名	スクールカウンセラー派遣事業
-------	----------------

事業の目的	児童生徒・保護者・教職員の悩みを受け止め、学校におけるカウンセリング機能や教育相談体制の充実を図るため、心理臨床の専門知識や経験をもつ人材を活用する。
事業の内容	この事業は県費による年間44時間のカウンセリングをさらに充実補完するため、年間54時間（1日6時間で9日間）分のカウンセリングを実施している。その派遣回数、思春期の不安定さを考慮し、中学校に重きをおきながら、2つの小学校でも複数回実施している。各学校のカウンセリング担当の教員がカウンセラー来校までに1日の時間調整を行う。基本的にカウンセリング内容は守秘義務によりカウンセラーから発信されることはないが、その内容が生徒指導や自殺などに発展する危険性を感じるような重大事象または虐待等に関連する事象の場合は、カウンセラー・当該校教員・村教育委員会事務局の関係者によるケース会議を持つことで早急かつ慎重な対応をとることとなる。

事業コスト (単位：千円)		令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
	事業費	350	345	419
	特定財源	0	0	0
	一般財源	350	345	419

区分	単位	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）	令和6年度（見込）
取組内容及び成果	十津川中学校 回【時間】	4(5)【54h】	5(6)【66h】	5(6)【66h】
	十津川第一小学校 回【時間】	3(1)【24h】	4(2)【22h】	3(2)【22h】
	十津川第二小学校 回【時間】	3(2)【24h】	2(3)【22h】	2(3)【22h】
		※()内は県費による実施回数 ※()内は県費による実施回数 ※()内は県費による実施回数		
		【 】内はカウンセリングの総時間数 【 】内はカウンセリングの総時間数 【 】内はカウンセリングの総時間数		
事業の課題	カウンセリングへのハードルを下げるための取組として児童生徒全員対象に短時間のカウンセリング体験を継続実施している。悩みを出せない児童生徒（特に中学生）にカウンセリングの機会を増やしていきたいが、当該児童生徒からの面談希望が少ない現状が依然としてある。いじめに関するアンケートやこころと生活等に関するアンケートの結果等を基にした分析とスクリーニング会議より、今後も早期の発見に努めてもらいたい。SNS等の問題を含め、児童生徒を取り巻く多様な状況がある中で、児童生徒・保護者・教職員の心身に関わる問題の、早期発見・早期解決につながるよう、今後も県費のみならず村費によるこの事業を存続したい。			
事業の評価	A	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	令和5年度は十津川中学校・66時間、十津川第一小学校・22時間、十津川第二小学校・22時間のカウンセリングが行われています。県費のみならず村費によって充実補完されています。高く評価します。また、いじめに関するアンケートやこころと生活等に関するアンケートの結果等を基にした分析とスクリーニング会議も行われています。また、生徒指導や自殺などに発展する危険性を感じるような重大事象または虐待等に関連する事象の場合は、カウンセラー・当該校教員・村教育委員会事務局の関係者によるケース会議を早急に開催することも想定されています。昨今のいじめ問題、SNS等による誹謗中傷など児童生徒を取り巻く多様な状況がある中で、今後も充実されることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

学校教育に関すること

事業No.

5

事務事業名	外国青年招致事業（ALT）
-------	---------------

事業の目的	外国語教育において児童生徒が生まれた外国語に触れたり、国際理解教育の向上を目的にALTを配置し、授業の補助を実施する。
事業の内容	<p>○継続的に任用できる期間：5年 勤務時間：8時30分から16時15分 週35時間</p> <p>○十津川第一小学校：毎週水・金曜日 十津川第二小学校：毎週火・木曜日 中学校：毎週月曜日</p> <p>①英語授業の助手・・ペアワークでつまづいている児童生徒への支援を行う。</p> <p>②教材作成の補助・・児童生徒が既習の復習ができるように、プリントを作ってもらう。</p> <p>③英作文添削指導の補助・・児童生徒が書いた英作文を添削してもらう。</p>

事業コスト (単位：千円)		令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
	事業費	3,960	4,106	3,909
	特定財源	0	0	0
	一般財源	3,960	4,106	3,909

区分	単位	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）	令和6年度（見込）	
取組内容及び成果	訪問数（小学校）	日	163	160	157
	訪問数（中学校）	日	28	35	41

事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語科担当教員等に対する研修補助や語学に関する情報提供 ・地域における国際交流等への協力 ・令和5年7月に来日したALTが生活・職場環境に馴染むことができるかという点 ・前ALTと同等のレベルまで授業の質を戻せるかという点
-------	--

事業の評価	<p>B</p> <p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	<p>令和5年度は、ALTを小学校へ総訪問日数160日、中学校へ総訪問日数35日と総数において前年度を上回る訪問回数になっています。児童生徒が生まれた外国語に触れたり、国際理解教育の向上につながる大切な取り組みであると考えます。令和5年度に着任したALTが十津川村の教育に順応し、外国語科教員や教育委員会とより一層の連携、学校教育のみならず地域における国際交流活動等の役割をより一層果たすことを期待します。</p>
--------	---

事業の方向性	<p><input type="checkbox"/> さらに重点化する</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する</p> <p><input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する</p> <p><input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する</p> <p><input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する</p> <p><input type="checkbox"/> 終了・完了</p>
--------	--

事務事業評価シート

学校教育に関すること

事業No.

6

事務事業名	森林環境教育
-------	--------

事業の目的	森林内でのさまざまな活動等を通じて、人々の生活や環境と森林との関係について理解と関心を深める。
事業の内容	<p>【十津川第一小学校】 実施日：10月20日 場所：果無私有林 実施学年：5年生 内容：間伐体験、木工工作、自然学習</p> <p>【十津川第二小学校】 実施日①：10月26日 場所：高滝村有林・21世紀の森 実施学年：5年生 内容：間伐体験、木工工作、自然学習 実施日②：11月1日 場所：21世紀の森 実施学年：1年生、2年生</p>

事業コスト (単位：千円)		令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(予算)
	事業費	55	60	160
	特定財源	0	0	0
	一般財源	55	60	160

区分	単位	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(見込)	
取組内容及び成果	十津川第一小学校	人	7	7	6
	十津川第二小学校	人	6	28	27

事業の課題	十津川村に生まれ育ちながらも「林業」を身近に感じている子どもは少なく、山や森で遊ぶことも減っている。今年度は、第二小学校が低学年にも体験学習を取り入れ、低学年のうちから身近な自然に興味を持たせられるようにした。このように毎年こなすだけでなく、さらに進化した指導ができるようにしていく必要がある。
-------	---

事業の評価	<p>B</p> <p>A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	森林環境教育は、間伐体験、木工工作、自然学習を行うなど、十津川村の特性を活かし、十津川の子どもたちに地域のすばらしさや誇りを培う大切な教育であると考えます。林業を身近に感じている子どもは少なく、山や森で遊ぶことも減っている現状の中、より一層森林教育を充実されることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	--

事務事業評価シート

学校教育に関すること

事業No.

7

事務事業名	食育
-------	----

事業の目的	食に関して興味・関心・感謝の気持ちを持ち、進んで健康づくりに努める児童生徒を育成する。
事業の内容	<p>【絆給食】新十津川町産の食材（メロン、米）を提供し、町との関わりを学ぶ。</p> <p>【地場産物給食】食料の生産等に対する子どもの関心と理解を深めるとともに、地産地消を進め、地域の食文化を継承する。（鹿肉を使ったカレー、むこだましを使ったごはん等）</p> <p>【学校給食運営委員会】各校の給食主任が食育計画・食育活動について報告を行い、情報・取組を共有して食育活動を推進している。（栄養教諭による献立説明・給食指導、食育だよりを用いた家庭との連携、行事食カードの作成、給食川柳の作成等）</p>

		令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
事業コスト （単位：千円）	事業費	186	118	214
	特定財源	0	0	0
	一般財源	186	118	214

区分	単位	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）	令和6年度（見込）	
取組内容及び成果	絆給食	円	39,500	41,460	60,000
	地場産物給食	円	146,389	76,580	154,000

事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・絆給食や地場産物給食は、新十津川町と十津川村の関わり・地域への理解や地産地消に関する理解を深める効果が期待できる取組である。 ・児童生徒たちが「食」に関する知識を身に付け、健全な心身を培うための「食」を選択する力を養う必要がある。
-------	---

事業の評価	<p>B</p> <p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	<p>新十津川町の食材を使った絆給食、地場産物給食として、鹿肉を使ったカレー、むこだましを使ったごはん等の提供など十津川村ならではの食育が展開されています。また、学校給食運営会が開催され、各校の給食主任が食育計画・食育活動についての報告、情報・取組の共有が行われています。今後は、児童生徒たちに「食」に関する知識を身に付け、健全な心身を培うための「食」を選択する力を育成されることを期待します。</p>
--------	---

事業の方向性	<p><input type="checkbox"/> さらに重点化する</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する</p> <p><input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する</p> <p><input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する</p> <p><input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する</p> <p><input type="checkbox"/> 終了・完了</p>
--------	--

事務事業評価シート

学校教育に関すること

事業No.

8

事務事業名	サマースクール事業
-------	-----------

事業の目的	基礎的・基本的事項の徹底を図り、体験的な学習・問題解決的な学習により、自ら学ぶ力・考える力を育て確かな学力を育成する。
事業の内容	奈良教育大学教職大学院との共催で、8月21日～23日の3日間、十津川第一小学校において実施した。新型コロナウイルス感染症拡大予防に留意しつつ、8名の教職大学院生と5名の大学教員が来村し、小学5・6年生の希望者（一小11名二小11名）が参加した。実施前から、ICTを活用しgoogle内のclassroomで、院生から参加児童への情報発信がなされていた。学習内容として、国語（ワールドカフェinとつかわ）、算数・社会（数の不思議、SDGsを考える）、音楽・書写（校歌で芸術家）・総合学習（ミッションクリア）が行われ、タブレットも利用し教科横断的な学びが行われた。また1学期後半に、奈良教育大学と一小・二小の5・6年生との間でオンラインによる事前交流会が行われた。

事業コスト (単位：千円)		令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(予算)
	事業費	176	260	394
	特定財源	0	0	0
	一般財源	176	260	394

区分	単位	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(見込)
取組内容及び成果	事前交流会	人 18(小6)・9(院生)	34(小5・6)・8(院生)	37(小5・6)・7(院生)
	サマースクール	人 8(小6)・9(院生)	22(小5・6)・8(院生)	22(小5・6)・7(院生)

事業の課題	これまで同様、新型コロナウイルス感染症予防に留意しながら、小学5年生も参加対象として実施していく。一人一台端末をはじめとするICTの活用においては、児童個々の個人能力差から、協働的な学びの場となりにくい様子が見られた。参加児童全員が、主体的に学習に取り組み深い学びへとつながるよう、事前学習を含めて大学及び学校との連携協力を進めていく必要がある。
-------	---

事業の評価	B	<p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	----------	---

有識者の所見	新型コロナ感染対策を行いながら、奈良教育大学教職大学院と連携した対面式の「サマースクール」が開催されています。実施前から、ICTを活用し院生から参加児童への情報発信がなされています。国語、算数、音楽・書写、総合学習等の学習が行われ、大学院生と共に学ぶことを通して、新たな学びの発見、学びへの探究心を育む機会にもなっていると考えます。十津川の子どもたちがさまざまな学びを経験する上で、大変意義深いものであると考えます。今後も充実発展されることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 終了・完了

学校教育施設の管理運営に関すること

事業No.

9

事務事業名	通級指導教室
-------	--------

事業の目的	昨年度研修を重ねた通級に関わる内容をもとに、令和5年度から通級指導教室（通級による指導の場）を小中学校において設置し、特別な支援を要する子どもたちの個々の障害にあった学びの場としての選択肢を増やした。
-------	--

事業の内容	中学校においては、中学校の教員がその指導を行う自校方式で、小学校では、第二小学校に籍を置く通級担当教員が、曜日を決めて第一小学校も訪問する形態で、それぞれ通級による指導を開始した。対象児童生徒（中学生2名・小学生11名） 教員に対する研修会も校種ごとに、奈良県教育委員会事務局特別支援教育推進室より指導主事を招聘して実施した。
-------	--

事業コスト (単位：千円)	事業費	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(予算)
	特定財源	0	0	0
	一般財源	0	0	0

区分	単位	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(見込)	
取組内容及び成果	通級検討委員会	回	(先進地校視察含む)		
	村内研修会	回	1	2	
	通級指導教室	校		自校方式及び巡回指導	自校方式及び巡回指導
	通級児童	人		11	11
	通級生徒	人		2	3

事業の課題	通級による指導の中心となる「自立活動」に関して、子に合った具体的かつ有効な指導内容の、担当教員による自己研鑽が今後も必要である。それにより、個別の指導計画を基にした実際の指導内容が、個々の児童生徒が抱える課題の改善につながることを期待したい。また、管理職や通常学級担任・教科担任の特別支援教育に関する知識理解の深まりも重要となる。さらに今後も、特別な支援を要する子どもの障害のようすを把握していくための丁寧な聴き取りと、個々に応じた適切な学びの場への審議が求められる。
-------	--

事業の評価	B	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である
-------	----------	--

有識者の所見	令和5年度から中学校においては、中学校の教員がその指導を行う自校方式で、小学校では、第二小学校に籍を置く通級担当教員が、第一小学校も訪問する形態で、通級指導が行われています。教員研修会も校種ごとに、奈良県教育委員会事務局特別支援教育推進室より指導主事を招聘して実施されています。今後も個別の指導計画を基にした指導等によって、個々の児童生徒が抱える課題の改善につながることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

事務事業評価シート

学校教育施設の管理運営に関すること

事業No.

10

事務事業名	学校施設整備事業
-------	----------

事業の目的	学舎環境を整え、「村の宝」である児童生徒が充実した義務教育の修学ができるように施設整備に努める。
事業の内容	<p>令和5年度は、以下の改修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●十津川第一小学校 修繕工事209,000円、職員室床修繕工事398,200円 エアコン設置工事415,800円 大津呂バス停簡易トイレ改修工事3,960,000円 ●十津川第二小学校 遊具設置工事1,595,000円 ●十津川中学校 剣道部室エアコン設置工事184,800円

		令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(予算)
事業コスト (単位:千円)	事業費	942	6,763	8,800
	特定財源		0	0
	一般財源	942	6,763	8,800

区分	単位	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(見込)	
取組内容及び成果	十津川第一小学校	円	899,800	4,983,000	6,602,000
	十津川第二小学校	円	0	1,595,000	884,000
	十津川中学校	円	41,800	184,800	1,314,000

事業の課題	<p>十津川第一小学校は施設の老朽化も進んでおり修繕・改修箇所が今後増える事が予想される。またバリアフリー化(多目的トイレや段差解消など)の改修対応も必要である。学校施設が避難所に指定されていることから防災施設としての機能性も高める必要がある。</p>
-------	--

事業の評価	A	<p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	----------	---

有識者の所見	<p>十津川第一小学校においては修繕工事、職員室床修繕工事、エアコン設置工事、大津呂バス停簡易トイレ改修工事、十津川第二小学校においては遊具設置工事、十津川中学校においては、剣道部室エアコン設置工事が行われています。高く評価します。限られた予算の中、村教育委員会事務局の苦勞も多いかと思いますが、今後も計画的に整備されることを期待します。</p>
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

学校教育施設の管理運営に関すること

事業No.

11

事務事業名	厨房機器整備事業
-------	----------

事業の目的	子どもたちへの安定した給食調理の実施を図る。
事業の内容	十津川第一小学校の配膳台（児童の給食の配膳に使用）の入替を行った。 業者：株式会社 中西製作所（奈良県大和郡山市今国府町6-3）

		令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
事業コスト （単位：千円）	事業費	1,265	185	572
	特定財源	0	0	0
	一般財源	1,265	185	572

区分	単位	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）	令和6年度（見込）
取組内容及び成果	十津川第一小学校	—		給食用配膳台（2台） 器具消毒保管庫（1台）
	十津川第二小学校	—	電気式立体炊飯器	
	十津川中学校	—		

事業の課題	令和5年度に厨房機器保守点検委託を行った。厨房機器の現状把握をしたうえで、今後の修繕・機器の入替を行いたい。また令和5年度に行われた奈良県教育委員会の調理場巡回指導の指摘事項を踏まえて、適切な調理場環境の整備に努める。
-------	---

事業の評価	<p>B</p> <p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	十津川第一小学校の配膳台の入れ替えが行われています。 子どもたちの安全・安心な給食を提供するため、限られた予算の中、村教育委員会の苦勞も多いかと思いますが、今後も県教育委員会の指導事項も踏まえて計画的に厨房機器整備をされることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	--

教職員・児童生徒の保健安全に関すること

事業No.

12

事務事業名	教職員住宅整備事業
-------	-----------

事業の目的	へき地教育振興法第3条第1項第2号の規定に基づき、へき地学校に勤務する教職員のための住宅の建築・斡旋等を行い、へき地教育の水準の向上を図る。
-------	--

事業の内容	築年	1号	2号	3号	4号	5号	6号	7号
	山崎	H6	H6	H6	/	/	/	/
	小原	H10	H11	H12	S46	S45	S45	S45
	折立	S45	S45	H6	H6	S32	H8	/
	平谷	H11	H12	H12	H12	H11	H4	H4
	西川	S63	S63	S41	S54	S54	H8	H8

事業コスト (単位：千円)	事業費	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(予算)
	特定財源	0	609	648
	一般財源	0	609	648

区分	単位	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(見込)
取組内容及び成果	修繕工事	宿舍		小・中学校宿舍

事業の課題	住宅の老朽化や村出身の教職員の減少により、建替や改修など早急な整備が求められている。
-------	--

事業の評価	C	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である
-------	----------	--

有識者の所見	限られた予算の中、村教育委員会の苦労も多いかと思いますが、今後も計画的に教職員住宅の整備をされることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

教職員・児童生徒の保健安全に関すること

事業No.

13

事務事業名	通学路
-------	-----

事業の目的	安心・安全な小中学生の通学路の確保
事業の内容	各学校代表、道路管理者（県・村）、警察、村営バス（スクールバス管理者）代表、保育所担当者で通学路安全推進協議会議を行い村内通学路にある危険箇所を点検し対策を行う。 <令和5年度合同点検実施箇所> 国道168号線湯之原バス停・役場前・豆市バス停・平谷口バス停 村道高森線高森地内

事業コスト (単位：千円)		令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
	事業費	0	0	0
	特定財源	0	0	0
	一般財源	0	0	0

区分	単位	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）	令和6年度（見込）	
取組内容及び成果	点検箇所	箇所	5	5	6
	改善箇所	箇所	5	5	6

事業の課題	通学路の危険箇所は年々対策はされてきているが、物理的に無理な箇所や対策に多額の費用が必要な箇所が残ってきている。 道路改良に伴い直線箇所が増え、車やバイク等のスピードが上がり危険を感じるため対策が必要。
-------	--

事業の評価	A	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である
-------	----------	--

有識者の所見	各学校代表、道路管理者（県・村）、警察、村営バス（スクールバス管理者）代表、保育所担当者間において通学路安全推進協議会議を行い、村内通学路にある危険箇所を点検対策が行われています。令和5年度は、国道168号線湯之原バス停・役場前・豆市バス停・平谷口バス停・村道高森線高森地内の点検実施が行われています。子どもたちの安全を確保をするうえで大切な取り組みであると考えます。高く評価します。予算の確保や点検作業中における安全確保などの課題はあると思いますが、今後も安心・安全な通学路の確保に努められることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

子育て支援に関すること

事業No.	14
-------	----

事務事業名	学校保健事業
-------	--------

事業の目的	学校医及び学校歯科医、学校薬剤師等により、各学校における児童生徒、教職員の健康管理、指導を行い、子どもたち自身の保健衛生の考え方や安全等への関心を高めると共に、自己管理能力が育つよう努める。
事業の内容	<p>学校医、歯科医、薬剤師、保護者代表、学校関係者による学校保健委員会を開催し、児童生徒の健康について話し合う。</p> <p>学校医：巳波健一／山下裕理（十津川第一小学校・十津川中学校） 中川貴之（十津川第二小学校）</p> <p>学校歯科医：下西誠市（全校）</p> <p>学校薬剤師：山下真経（全校）</p> <p>薬物乱用防止教室の実施（十津川第一小学校：11月16日 十津川中学校 2月21日）／フッ化物洗口事業の実施／奈良県歯科衛生士会による歯科指導の実施（十津川第一小学校：6月13日 十津川第二小学校：6月5日 十津川中学校：6月13日）／五條・内吉野感染症対策委員会（五條市：2月29日）</p>

		令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
事業コスト （単位：千円）	事業費	1,807	2,194	2,095
	特定財源	0	0	0
	一般財源	1,807	2,194	2,095

区分	単位	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）	令和6年度（見込）	
取組内容及び成果	健康診断	円	1,305	1,575	1,474
	歯科検診	円	419	520	522
	歯科衛生指導	円	83	99	99
	虫歯保有率(小学生)	%	24.4	78.8	60.0
	虫歯保有率(中学生)	%	50.0	61.6	50.0

事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の流行を経て、今後も感染症対策や予防の指導を行うと共に、感染症対策に対応した健康診断等の実施をする必要がある。 ・村の12歳児の平均虫歯本数（DMF）は県内ワーストを推移しており、今後も歯磨き指導を行うとともに、保護者に対しても歯科衛生の啓発を行っていききたい。
-------	---

事業の評価	<p>B</p> <p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	<p>学校医及び学校歯科医、学校薬剤師等により、各学校における児童生徒、教職員の健康管理指導が定期的に行われています。</p> <p>薬物乱用防止教室、フッ化物洗口事業、奈良県歯科衛生士会による歯科指導、奈良県歯科衛生士会による歯科指導が十津川第一小学校、十津川第二小学校、十津川中学校で行われています。村の12歳児の平均虫歯本数（DMF）がなかなか改善されない現状が続いていますが、家庭とも連携して粘り強い指導を期待します。</p>
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 終了・完了

事務事業評価シート

子育て支援に関すること

事業No.

15

事務事業名	学校給食無償化事業
-------	-----------

事業の目的	保護者の経済的負担の軽減を図る。
事業の内容	<p>村内小・中学校に通う児童生徒の学校給食費を平成30年度より無償化している。 (※教職員及び来校者からは給食費を徴収)</p> <p>村内では小学校2校・中学校1校にて、自校方式で調理を行い、完全給食を実施している。</p>

事業コスト (単位：千円)		令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(予算)
	事業費	12,429	13,171	14,266
	特定財源	2,864	2,906	2,948
	一般財源	9,565	10,265	11,318

区分	単位	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(見込)	
取組内容及び成果	小学校人数	人	138	142	128
	中学校人数	人	68	68	65
	小学校年間給食数	食	186	184	190
	中学校年間給食数	食	188	174	190
	小学校給食費/日	円	308	323	335
	中学校給食費/日	円	325	366	370

事業の課題	給食用物資を納入できる業者が限られている中で、給食の栄養価やエネルギー量を維持しながらも食材費を抑える工夫が必要である。またアレルギー疾患を持つ児童生徒への代替食対応の為に特定の食材を少数納入することが難しい現状にある。
-------	--

事業の評価	<p>B</p> <p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	<p>村内の小・中学校において自校式の完全給食が実施されています。また、平成30年度から給食費無償化されています。これらの取組は、保護者の経済的な負担を軽減させるだけではなく、教職員の給食会計事務の負担を軽減することにもなっています。</p> <p>限られた予算の中、給食用物資の確保や給食アレルギー疾患等をもつ児童生徒への対応など苦労は多いと思いますが、今後も安心・安全な学校給食を提供されることを期待します。</p>
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 終了・完了

事務事業評価シート

子育て支援に関すること

事業No.

16

事務事業名	通学費補助事業
-------	---------

事業の目的	遠距離通学者で路線バスがなく、通学困難な場合において代替移動に係る費用を補助する。
事業の内容	和歌山県新宮市へ教育事務を委託している中学生2名の通学に係るタクシー代の補助を行った。

		令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(予算)
事業コスト (単位:千円)	事業費	1,716	2,137	2,101
	特定財源	190	334	375
	一般財源	1,526	1,803	1,726

区分	単位	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(見込)	
取組内容及び成果	利用児童数	人	75	79	80
	利用生徒数	人	43	47	44
	委託児童生徒数	人	2	2	2

事業の課題	今後も通学可能な環境を維持することが必要である。
-------	--------------------------

事業の評価	<p>B</p> <p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	新宮市へ教育事務委託している生徒に対してもタクシー代の補助がなされています。財政状況の厳しい中においても就学支援制度が維持されていることは高く評価します。今後も事業の継続を期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	--

子育て支援に関すること

事業No.

17

事務事業名	修学旅行費補助事業
-------	-----------

事業の目的	保護者の経済的負担の軽減を図る。
事業の内容	<p>予算の範囲内で村内小学校6年児童・中学校3年生徒の修学旅行費を全額補助した。</p> <p>【十津川連合小学校】令和5年5月25日（木）～27日（土）：京都方面</p> <p>【十津川中学校】 令和5年5月16日（火）～19日（金）：北海道方面</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策の為、公共交通機関を利用しない貸切観光バスを利用する旅程としていたが、十津川中学校は令和5年度よりコロナ禍以前に訪れていた北海道（令和4年度は四国）に変更した。</p>

事業コスト (単位：千円)		令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
	事業費	2,889	2,830	3,717
	特定財源	0	0	0
	一般財源	2,889	2,830	3,717

区分	単位	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）	令和6年度（見込）	
取組内容及び成果	参加児童数	人	17	13	21
	小学校引率者数	人	4	4	4
	参加生徒数	人	17	15	18
	中学校引率者数	人	4	5	4
	小学校修学旅行費	円	1,299,784	1,001,795	1,607,000
	中学校修学旅行費	円	1,589,277	1,827,947	2,110,000

事業の課題	新型コロナウイルスは五類移行となったが、今後も社会情勢の変化を踏まえながら目的地を選定し、安全かつ適正な修学旅行を実施できるように旅行会社・実施校と連携を図る必要がある。
-------	---

事業の評価	<p>B</p> <p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	<p>小・中学校の修学旅行費が全額補助されています。保護者の経済的負担の軽減、子育てしやすい村づくりの観点からこれらの取り組みを高く評価します。</p> <p>令和5年度は、十津川連合小学校は京都方面、十津川中学校は北海道方面の修学旅行が実施されています。新型コロナウイルス感染症対策を行い、今後も子どもたちの安全を最優先にして修学旅行を実施されることを期待します。</p>
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 終了・完了

事務事業評価シート

子育て支援に関すること

事業No.

18

事務事業名	にこにこキッズルーム
-------	------------

事業の目的	小学生を対象として、その保護者が労働等により昼間家庭にいない児童を対象に、授業終了後や長期休業中に適切な遊び及び生活の場を与え、子どもの状況や発達段階を踏まえながら、その健全な育成を図る。
事業の内容	小学生のうち、就労等で昼間子どもを見守ることができる大人がひとりもない家庭の児童を対象に預かりを行った。学習の時間や自由遊びを行う場を提供し、保護者の就労を促進する。 ○開催日（平日）：4月6日～翌3月22日／夏期23日・冬期5日・春期5日（※土・日・祝日以外）

事業コスト (単位：千円)	事業費	令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
	特定財源	3,644	4,087	6,698
	一般財源		1,439	1,603
		3,644	2,648	5,095

区分	単位	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）	令和6年度（見込）	
取組内容及び成果	登録数（一小）	人	11	12	10
	登録数（二小）	人	5	7	11
	登録数（夏期）	人	32	38	36
	登録数（冬期）	人	20	33	36
	登録数（春期）	人	23	34	36

事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・慢性的なスタッフ不足により、特別な支援が必要な子どもを受け入れることができない。 ・十分な研修ができていないことや、スタッフの後ろ向きな姿勢を変えることが必要である。
-------	---

事業の評価	C	<p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	----------	---

有識者の所見	小学生を対象に、就労等で昼間子どもを見守ることができる大人がひとりもない家庭の児童を対象に預かりが行われています。保護者の就労促進にもつながる取り組みであります。スタッフの高齢化及び人数不足、指導者の研修など課題は多いと考えますが、より充実されることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 終了・完了

子育て支援に関すること

事業No.

19

事務事業名	就学援助
-------	------

事業の目的	児童生徒が安心して義務教育を受けることができるように、生活保護に準じる程度の経済的困難者に対し支援を行う。
事業の内容	<p>経済的に困難な状況にある家庭を対象とし、要保護や準要保護と認められた児童生徒の学用品費等の補助を行う。</p> <p>令和5年度 準要保護対象者：4名</p>

事業コスト (単位：千円)	事業費	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(予算)
		0	154,440	399,000
		0		0
	特定財源	0		0
	一般財源	0	154,440	399,000

区分	単位	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(見込)
取組内容及び成果	要保護児童生徒数	人	0	0
	準要保護児童生徒数	人	0	4

事業の課題	就学援助について知らない家庭がないよう、保護者に対して就学支援制度のチラシの配布、HPへの掲載を行い周知徹底を図る必要がある。
-------	---

事業の評価	<p>B</p> <p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	要保護・準要保護児童を対象に学用品日などの補助事業が用意されています。今後、全世帯に周知案内等を配布するなど、制度の周知などをより一層行い子どもたちが経済的に安心して通学できるよう、今後も支援されることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 終了・完了

社会教育・生涯学習に関すること

事業No.

20

事務事業名	奨学資金貸付事業
-------	----------

事業の目的	向学心に富んだ高等学校以上の生徒や学生に対し、奨学金を貸与する。
事業の内容	新規の貸与者は4名 【令和5年度実績】 月30,000円 貸与5名（継続1名・新規4名） 月20,000円 貸与0名

事業コスト (単位：千円)		令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
	事業費	1,800	1,800	1,800
	特定財源	1,800	1,800	1,800
	一般財源	0	0	0

区分	単位	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）	令和6年度（見込）	
取組内容及び成果	貸付額	千円	1,320	1,800	1,800
	現年度償還額	千円	1,540	1,695	1,560
	過年度償還額	千円	945	775	275
	新規貸与者	人	0	4	0
	償還滞納者	人	7	5	3
	償還滞納額	千円	1,550	1,000	730

事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・滞納者に対する徴収の強化。 ・年々借入者が少なくなっているため効果的な広報が必要である。
-------	--

事業の評価	<p>C</p> <p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	<p>向上心に富んだ高校生以上の生徒や学生に対しての奨学金を貸与する事業が用意されています。滞納者に対する徴収、奨学金制度を活用するための効果的な広報の在り方検討など課題はありますが、今後も充実されることを期待します。</p>
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	--

社会教育・生涯学習に関すること

事業No.

21

事務事業名	社会教育委員
-------	--------

事業の目的	村民の生涯学習への意識を深め、学習意欲を醸成するため社会教育活動、並びに学習体系づくりの推進。特に乳幼児家庭教育学級を支援し、家庭における教育力の向上を図る。
事業の内容	社会教育委員（任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日）議長1名、副議長1名、委員3名 社会教育委員の主な活動：定例会議（年6回）／乳幼児家庭教育学級の開催／文化祭や村内各行事への参加／奈良県社会教育委員連絡協議会・奈良県社会教育研究大会・奈良県社会教育学校への参加

事業コスト （単位：千円）		令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
	事業費	704	823	946
	特定財源	0		
	一般財源	704	823	946

区分	単位	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）	令和6年度（見込）
取組内容及び成果	定例会議	回	6	6

事業の課題	家庭教育、乳幼児家庭教育学級では人が集まらないため、講座の内容について工夫する必要がある。
-------	---

事業の評価	<p>C</p> <p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	社会教育委員の定例会議（年6回）が開催されるとともに、乳幼児家庭教育学級の開催、文化祭や各村内行事への参加、県内各種大会等に積極的に参加しています。今後は、家庭教育、乳幼児家庭教育学級等の周知・広報の在り方について検討されることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 終了・完了

社会教育・生涯学習に関すること

事業No.

22

事務事業名	乳幼児家庭教育学級
-------	-----------

事業の目的	子育てに関わる全ての人や乳幼児を抱える保護者と乳幼児を対象とした教室を開催し、安心して子育てできるよう専門家等からの基礎知識を培う。また、保護者の育児ストレスを軽減し、楽しく育児ができるきっかけとなるような教室を行う。
事業の内容	7/9 おじいちゃんおばあちゃんが学ぶお孫さんとの上手な付き合い方や接し方についての講座 (住民ホール) 11/14 リズムで遊ぼう、リズム遊び、リトミックで歌や音楽に合わせて体を動かし楽しむ (北部保健センター)

		令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(予算)
事業コスト (単位:千円)	事業費	33	55	89
	特定財源	0		
	一般財源	33	55	89

区分	単位	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(見込)	
取組内容及び成果	参加者数(保護者)	人	8	18	10
	参加者数(幼児)	人	4	16	10

事業の課題	乳幼児家庭教育学級の参加人数が少ない、少子化に伴い仕方がないことではあるが、講座の内容についても検討する必要がある。また十津川テレビでの放送やYouTubeなどでも見られるよう工夫する必要がある。
-------	--

事業の評価	C	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である
-------	----------	--

有識者の所見	令和5年度は、「おじいちゃんおばあちゃんが学ぶお孫さんとの上手な付き合い方や接し方についての講座」「リズムで遊ぼう、リズム遊び、リトミックで歌や音楽に合わせて体を動かし楽しむ」が行われています。今後は、講座の内容及び周知の在り方について、より検討されることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

社会教育・生涯学習に関すること

事業No.

23

事務事業名	新十津川町との交流事業
-------	-------------

事業の目的	新十津川町の児童生徒及び青年と、村の児童生徒及び青年の交流を行うことで、若者が十津川村の歴史と先人たちが築いた新十津川町の歴史を学びあい、互いの絆の結びつきを強める機会を創出する。
事業の内容	<p>①新十津川町小中学校の児童生徒と十津川村の児童生徒との交流及び研修 新型コロナウイルス感染症の影響により中止されていた新十津川町児童生徒・教職員母村研修団の受入れを4年ぶりに実施した。(R4年度はオンラインによる交流会を実施) 研修期間：令和5年7月26日(水)～7月28日(金)、研修団：34人(小5:9人、中1:14人、中2:5人、引率者:6人) 学校交流：木工工作等(十津川第二小学校)、アイスブレイク、脱出ゲーム等(十津川中学校)</p> <p>②新十津川町青年と十津川村青年の交流事業 ※新十津川町への訪問と受入を隔年で行っている。 ※令和5年度十津川村青年県外研修：令和6年2月23日～2月26日</p>

事業コスト (単位：千円)		令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(予算)
	事業費	0	972	1,088
	特定財源	0	0	0
	一般財源	0	972	1,088

区分	単位	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(見込)	
取組内容及び成果	①参加者数	人	0	34	18
	①事業費	千円	0	641	588
	②参加者数	人	5	5	5
	②事業費	千円	488	331	500

事業の課題	研修内容については前回は踏襲したものがベースとなるが、参加者の希望に応じた行先の変更や、新しくできた施設の見学など、見直しをしながら立案し、より有意義な研修となるようにしたい。今後、コロナの影響等により交流事業が困難な場合においては、オンラインによる交流も検討が必要。
-------	--

事業の評価	<p>B</p> <p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	昨年度まで新型コロナウイルス感染症によって対面実施できていなかった「新十津川町小・中学校の児童生徒の十津川村の児童生徒との交流及び研修」及び「新十津川町青年と十津川村青年の交流事業」が、令和5年度は再開されています。今後も新型コロナウイルス感染症対策を講じ、より充実した内容になることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	--

事務事業評価シート

社会教育・生涯学習に関すること

事業No.

24

事務事業名	二十歳を祝う会
-------	---------

事業の目的	その年度に二十歳を迎える方を対象に、式典や記念講演を行い、お祝いすると同時に、大人になったことを改めて自覚し新たな決意を持ってもらう。
事業の内容	日時 令和6年1月3日(水) 場所 十津川村住民ホール 参加者 16名(対象者21名) 記念講演 演題 「リスクへの備え」 講師 陸上自衛隊 航空学校長 更谷光二 氏

		令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(予算)
事業コスト (単位:千円)	事業費	450	142	789
	特定財源	0	0	0
	一般財源	450	142	789

区分	単位	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(見込)	
取組内容及び成果	対象者	人	25	21	25
	参加者	人	19	16	25

事業の課題	成人対象年齢が18才となるが、20才を迎える歳に二十歳を祝う会を行う事の周知が必要。
-------	--

事業の評価	A A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である
-------	--

有識者の所見	「二十歳を祝う会」が陸上自衛隊航空学校長更谷光二氏(演題「リスクへの備え」)を招いて開催されています。今後も新型コロナウイルス感染対策を講じながら、参加者の安全・安心を確保し開催されることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了

事務事業評価シート

社会教育・生涯学習に関すること

事業No.

25

事務事業名	公民館事業
-------	-------

事業の目的	地域の住民の集う施設として、生活文化の振興や社会福祉の増進等に寄与することを目的とする。
事業の内容	<p>教育委員会が管轄している公民館は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十津川村公民館上野地分館 ・十津川村迫西川地区公民館 ・十津川村小井地区公民館 ・十津川村谷垣内地区公民館

		令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
事業コスト （単位：千円）	事業費	107	1,265	5,720
	特定財源	0		
	一般財源	107	1,265	5,720

区分	単位	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）	令和6年度（見込）
取組内容及び成果	迫西川公民館改修工事	千円		5,720
	十津川村公民館上野地分館改修工事	千円	1,265	

事業の課題	<p>迫西川地区公民館は集落から2 km近く離れており、設置地区には8軒と少なく公民館の利活用、避難場所としても誰も使用していない状況である。</p> <p>現在、公民館を地元へ払下げる予定で総代、施設課を含め話し合いをしている。</p>
-------	---

事業の評価	<p>C</p> <p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	<p>公民館は生活文化の振興や、社会福祉そして社会教育活動を行う拠点としても重要な施設であると考えます。迫西川地区公民館は設置場所の関係もあり利活用に課題があります。今後は、迫西川地区公民館の在り方についてさらに検討されることを期待します。</p>
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 終了・完了

事務事業評価シート

社会教育・生涯学習に関すること

事業No.

26

事務事業名	のら文庫
-------	------

事業の目的	社会的な情報や文化的な知識を、村民が必要とする際に提供できる「知的」公共サービス事業として、子育て世代や子どもたちへの絵本や図鑑等を通した初等教育や村内生活の豊かな場となるよう運営を行う。
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者への図書の貸出・返却 ・配架・整理、蔵書確認、返却延滞への対応 ・「村報」等広報誌を活用した新着図書紹介や特集 ・話題の図書や要望の高い書籍の購入

		令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
事業コスト （単位：千円）	事業費	587	492	300
	特定財源	0	0	0
	一般財源	587	492	300

区分	単位	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）	令和6年度（見込）	
取組内容及び成果	延べ利用者数	人	853	759	700
	延べ貸出冊数	冊	3,259	2,820	2,600
	購入図書数	冊	278	405	150

事業の課題	現状は蔵書があふれているため、購入予算を削減し、利用頻度が低い書籍も除籍するなどして、配架スペースに余裕を持たせる必要がある。また、書籍が元の棚ではなく、ばらばらの位置に戻されることも多いため書棚の整理に時間を要する。そのため、利用者が閲覧後に元の棚に書籍を戻せるよう、目印をつけるなどの工夫が必要かと感じている。
-------	---

事業の評価	<p>C</p> <p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	村内に図書館施設がない状況で、のら文庫は、子どもたちの教育や村民の文化振興にも役立つ存在であると考えます。今後は、配架の在り方や、書棚の整理などの課題についてより検討され、よりよい運営を行うことを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 終了・完了

文化施設の管理運営に関すること

事業No.

27

事務事業名	社会教育関係等団体指導育成事業
-------	-----------------

事業の目的	十津川村の社会教育関係団体の健全な育成を図り、社会教育の振興に資する。
事業の内容	下記の団体に補助金を交付している。 十津川村青年団／十津川村婦人会／十津川村子ども会連絡協議会／十津川村PTA協議会／十津川村人権教育推進協議会／十津川村文化協会／古民舞保存継承団体（武蔵踊保存会）／小原踊り保存会／平谷餅搗き踊り保存会／西川大踊り保存会／出谷踊り保存会／西川子ども連合会／十津川村体育協会／十津川剣道クラブ・南十津川少年剣道クラブ

事業コスト (単位：千円)	事業費	令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
	特定財源	3,530	4,353	6,671
	一般財源	0		
		3,530	4,353	6,671

区分	単位	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）	令和6年度（見込）	
取組内容及び成果	青年団	円	275,928	551,260	905,000
	婦人会	円	271,007	491,131	860,000
	子ども会連絡協議会	円	0	76,004	200,000
	PTA協議会	円	345,538	306,735	446,000
	人権教育推進協議会	円	475,106	460,013	690,000
	文化協会	円	612,387	628,539	630,000
	武蔵踊保存会	円	0	180,000	180,000
	小原踊り保存会	円	55,879	177,173	180,000
	平谷餅搗き踊り保存会	円	171,309	179,586	180,000
	西川大踊り保存会	円	166,710	180,000	180,000
	出谷踊り保存会	円	0	95,489	180,000
	西川子ども連合会	円	39,910	38,927	40,000
	体育協会	円	628,266	987,794	1,000,000
	十津川剣道クラブ 南十津川少年剣道クラブ	円	0	0	1,000,000
	新十津川町青年団研修生受入	円	488,286	0	0

事業の課題	不用額がでないよう周知各団体に活動してもらおうよう周知する。
-------	--------------------------------

事業の評価	B	<p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	----------	---

事務事業評価シート

有識者の所見	<p>十津川村青年団、十津川村婦人会、十津川村子ども会連絡協議会、十津川村PTA協議会、十津川村人権教育推進協議会、十津川村文化協会など各種団体に補助金が交付されています。社会教育が今後も充実されることを期待します。</p>
--------	--

事業の方向性	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了 </td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了		

事務事業評価シート

文化施設の管理運営に関すること

事業No.

28

事務事業名	歴史民俗資料館
-------	---------

事業の目的	民俗資料及び歴史資料等を総合的に保存、活用し、もって郷土の歴史と文化財に対する住民の知識と理解を深めることを目的とする。
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史民俗資料館の開館（9:00～17:00まで 火曜・年末年始休館） ・資料の寄贈受付及び保管 ・収集資料の記録・整理作業

		令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
事業コスト （単位：千円）	事業費	11,177	9,664	11,034
	特定財源	417	365	500
	一般財源	11,594	10,029	11,534

区分	単位	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）	令和6年度（見込）	
取組内容及び成果	入館者数	人	1,543	1,315	1,550
	入館料収入	円	417,330	364,500	500,000

事業の課題	展示が長期間更新されておらず、資料館のホームページも構築されていないため広報力に欠ける。現在十津川村史編さん事業を行っているため、その調査成果を展示に反映させ、村広報にて周知させることも必要である。また、開館以来展示図録や報告書も刊行できていないため、刊行によってより一層の情報発信が求められる。
-------	--

事業の評価	<p>C</p> <p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	十津川村の民俗について気軽に知識や興味を深める機会としての役割を担っている施設であると考えます。調査成果の展示、展示図録や報告書の刊行、資料館のホームページの開設などより一層情報発信されることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 終了・完了

文化施設の管理運営に関すること

事業No.

29

事務事業名	教育資料館
-------	-------

事業の目的	廃校に保管されていた教育資料を総合的に保存、活用し、もって郷土の歴史と文化財に対する住民の知識と理解を深めることを目的とする。
事業の内容	教育資料の保存・整理 4月～11月の第2・第4日曜日（10:00～16:00）に無料開放している。

事業コスト (単位：千円)		令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
	事業費	50	50	54
	特定財源	0	0	0
	一般財源	50	50	54

区分	単位	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）	令和6年度（見込）	
取組内容及び成果	入館者数	人	54	65	60

事業の課題	教育資料（展示品）の整理及びその活用と、来館者が少ない理由として施設の認知度が低いことが考えられるため、歴史民俗資料館と併せてPRが必要。
-------	---

事業の評価	<p>C</p> <p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	教育資料館は、地域の人々に十津川村の歴史・文化財に対する理解を深めてもらう重要な施設であると考えます。令和5年度の年間入館者数が、前年度より増えてはおりますが、多い人数とは言えません。今後保存・整理、展示、そして周知方法等について、より一層検討されることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	--

文化施設の管理運営に関すること

事業No.

30

事務事業名	山村生産用具収蔵庫
-------	-----------

事業の目的	十津川郷における生業に関する用具を収集した、国指定重要有形文化財「十津川郷の山村生産用具」3,174点の整備・保護を行い、十津川郷において営まれてきた山村生産の実態と変遷を後世に伝えていく。
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「十津川郷の山村生産用具収蔵庫」収蔵物の点検、及び虫害防止のための燻蒸・トラップ調査 ・村内学校等による見学への対応 ・令和5年11月19日・令和6年3月3日に一般無料公開

事業コスト (単位：千円)	事業費	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(予算)	
		特定財源	0	0	0
		一般財源	1,637	1,024	1,024

区分	単位	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(見込)
取組内容及び成果	燻蒸委託料	円	845,000	880,000
	燻蒸回数	回	1	1
	トラップ調査	回	6	6
	一般無料公開	回	0	2
事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・国指定文化財(民具)の状態調査とデータ作成 ・収蔵庫内の温湿度管理による環境改善 ・収蔵庫及び所蔵民具の広報と利活用の促進 			
事業の評価	B	<ul style="list-style-type: none"> A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である 		

有識者の所見	国指定重要有形文化財「十津川郷の山村生産用具」は、十津川村の先人たちから引き継がれた貴重な文化財であり、後世に残す義務があると思います。国指定文化財(民具)の状態調査とデータ作成、収蔵庫内の一般公開準備と公開の実施、収蔵庫内の温湿度管理による環境改善などいくつかの課題もあると考えます。今後も国と連携し整備・保護されることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 終了・完了

事務事業評価シート

文化財の保護に関すること

事業No.

31

事務事業名	むかし館
-------	------

事業の目的	道の駅「十津川郷」の地下階で民俗資料を展示し、十津川村の民俗について気軽に知識や興味を深める機会を設ける。
事業の内容	民俗資料を展示し、施設を無料開放している。

事業コスト (単位：千円)		令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(予算)
	事業費	0	0	0
	特定財源	0	0	0
	一般財源	0	0	0

区分	単位	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(見込)
取組内容及び成果				

事業の課題	道の駅「十津川郷」内の施設であるため、道の駅と合意形成をした上での活用が必要。 訪問者数が少なく、維持管理も不十分であるため、展示を縮小する形で進めている。 ※現在2部屋使用していますが、1部屋に収める。
-------	--

事業の評価	<p>C</p> <p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	十津川村の民俗について気軽に知識や興味を深める機会としての役割を担っている施設であると考えます。入館者数が少ないという現状があります。道の駅「十津川郷」内の施設であるため、道の駅とも合意形成を行い、可能な範囲でよりよい展示内容について検討されることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	--

文化財の保護に関すること

事業No.

32

事務事業名	文化財保護審議委員
-------	-----------

事業の目的	教育委員会の諮問に応じて文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査、審議をすることともに、これらの事項に関して教育委員会に建議する。
事業の内容	文化財保護審議委員：下野拓也・岡 修一・森 麻美・大谷芳史（令和6年6月30日まで） 下野拓也・岡 修一・森 麻美・大谷芳史（令和6年7月1日から） （委員の任期：2年）

		令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
事業コスト （単位：千円）	事業費	0	23	89
	特定財源	0	0	0
	一般財源	0	23	89

区分	単位	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）	令和6年度（見込）
取組内容及び成果	審議会議	0	1	2
事業の課題	・令和5年度は新たに文化財の登録はなし。 ・玉置神社には多くの文化財（建築物）があり、この多くは腐朽・損傷がみられることから今後の修理・保存・管理方法について議論が必要。			
事業の評価	B	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である		

有識者の所見	文化財保護審議委員会が設置されています。昨年度まで新型コロナウイルス感染症の影響により開催されていなかった審議会は令和5年度は開催されています。今後は玉置神社をはじめ十津川村が有する文化財の保存及び活用について審議し、文化財保護に努められることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	--

文化財の保護に関すること

事業No.

33

事務事業名	カモシカ保護事業
-------	----------

事業の目的	狩猟用のくくり罠に捕らわれてしまったり、獣害防止ネットに絡まって自力で脱出できなくなったカモシカ（国の特別天然記念物）を保護するため、獣の扱い等専門知識を有している猟友会に業務を委託し、カモシカの安全かつ適正な保護に努める。
事業の内容	委託先：猟友会十津川支部 委託料：1回7,000円/人 ※保護に当たっては安全性を考慮し2名での対応。 ※既に死亡しているカモシカについては事務局職員で対応。

		令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
事業コスト （単位：千円）	事業費	420	364	630
	特定財源	0	0	0
	一般財源	420	364	630

区分	単位	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）	令和6年度（見込）	
取組内容及び成果	保護頭数	頭	30	25	45

事業の課題	令和元年度に事業を開始してから、カモシカの保護件数が多く感じる。これまでは15,000円/人であり積極的に錯誤確保する恐れもあること、令和4年度から7,000円/人に減額とした。これでも同一箇所での錯誤捕獲が目立つようであれば、委託金額の再度見直しも検討する必要がある。
-------	---

事業の評価	C	<p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	----------	---

有識者の所見	国の特別天然記念物に指定されているカモシカを保護することは重要な役割です。猟友会十津川支部とも連携し、必要があれば委託金額の再度見直しなど諸課題に取り組み、より良い事業運営を行うことを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	--

事務事業評価シート

歴史・文化・芸術の振興に関すること

事業No.

34

事務事業名	文化財保存整備事業
-------	-----------

事業の目的	十津川村指定文化財の保存及び修復に必要な補助事業や修繕事業を計画的に実施し、保全・活用に努める。										
事業の内容	<table border="0"> <tr> <td>玉置神社国宝重要文化財改修費補助</td> <td>13,246千円</td> </tr> <tr> <td>玉置神社村文化財改修費補助</td> <td>15,434千円</td> </tr> <tr> <td>防火設備保守点検補助（玉置神社・瀬ホテル・辻家住宅）</td> <td>131千円</td> </tr> <tr> <td>県指定天然記念物保全整備費補助（杉の巨樹群）</td> <td>247千円</td> </tr> <tr> <td>文化財火災・地震保険補助（玉置神社）</td> <td>421千円</td> </tr> </table>	玉置神社国宝重要文化財改修費補助	13,246千円	玉置神社村文化財改修費補助	15,434千円	防火設備保守点検補助（玉置神社・瀬ホテル・辻家住宅）	131千円	県指定天然記念物保全整備費補助（杉の巨樹群）	247千円	文化財火災・地震保険補助（玉置神社）	421千円
玉置神社国宝重要文化財改修費補助	13,246千円										
玉置神社村文化財改修費補助	15,434千円										
防火設備保守点検補助（玉置神社・瀬ホテル・辻家住宅）	131千円										
県指定天然記念物保全整備費補助（杉の巨樹群）	247千円										
文化財火災・地震保険補助（玉置神社）	421千円										

事業コスト (単位：千円)		令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
	事業費	11,296	29,854	45,898
	特定財源	0	0	0
	一般財源	11,296	29,854	45,898

区分	単位	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）	令和6年度（見込）	
取組内容及び成果	国指定文化財補助	件	2	1	1
	県指定文化財補助	件	3	5	5
	村指定文化財補助	件	2	2	2

事業の課題	<p>玉置神社社務所及び台所（重要文化財）の大規模改修など、次世代に継承するための修繕等に係る予算の確保</p> <p>玉置神社の石垣整備の指針となる史跡大峯奥駈道保存活用計画を策定する必要がある。</p>
-------	---

事業の評価	<p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	--

有識者の所見	<p>令和5年度において、玉置神社国宝重要文化財改修・玉置神社村文化財改修・防火設備保守点検（玉置神社・瀬ホテル・辻家住宅）・県指定天然記念物保全整備（杉の巨樹群）・文化財火災地震保険（玉置神社）に関わる補助が行われています。</p> <p>重要文化財でもある玉置神社社務所及び台所の大規模改修の予算確保、玉置神社の石垣整備の指針となる史跡大峯奥駈道保存活用計画を策定などの課題はあるかと思いますが、今後も国及び県とも一層連携し、計画的に文化財の保存に努められることを期待します。</p>
--------	--

事業の方向性	<table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> さらに重点化する</td> <td><input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する</td> <td><input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する</td> <td><input type="checkbox"/> 終了・完了</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する						
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する						
<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了						

歴史・文化・芸術の振興に関すること

事業No.

35

事務事業名	歴史・文化講座
-------	---------

事業の目的	村内の幅広い世代に参加者を募り、講座を通して、地域の歴史や文化に愛着や誇りを感じてもらい、保全・伝承及び地域振興の活力につなげる。
事業の内容	令和5年7月2日(日) 『梅雨のキノコ観察会』/講師:佐野 修治 氏 ※雨天により1日(土)から2日(日)に変更 令和5年12月17日(日) 『フラワーアレンジメント教室』/講師:栗栖 直子 氏 令和6年3月23日(土) 『早春の植物観察会』/講師:尾上 聖子 氏 ※雨天により中止(予備日の24日(日)も雨予報のため)

事業コスト (単位:千円)		令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(予算)
	事業費	122	128	124
	特定財源	5	21	16
	一般財源	117	107	108

区分	単位	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(見込)	
取組内容及び成果	歴史/参加者数	人	0	0	20
	自然/参加者数	人	27	18	30
	体験/参加者数	人	17	25	20

事業の課題	昨年度に引き続き、対面による講座を行ってきたが、より多くの村民等に十津川村の歴史や文化、自然の魅力を知ってもらえるきっかけを提供していく必要がある。特に歴史講座は数年開催できていないことから、実施できるように検討をしていきたい。
-------	--

事業の評価	C	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である
-------	----------	--

有識者の所見	令和5年度は「梅雨のキノコ観察会」、「フラワーアレンジメント教室」、「早春の植物観察会」が開催されています。より多くの村民等に十津川村の歴史や文化、自然の魅力を知ってもらえるためにも「歴史講座」などの開催についても、今後も引き続き検討されることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

歴史・文化・芸術の振興に関すること

事業No.

36

事務事業名	文化祭
-------	-----

事業の目的	村で行われている文化活動を地域に根付かせ、その振興と発展に寄与すること。また、文化祭を通して、村民同士がふれあう機会を持つことにより、交流の場を創出する。
-------	---

事業の内容	<p>令和5年度 第43回 十津川村文化祭</p> <p>実施期間：令和5年11月2日(13:00~18:00) 展示のみ 11月3日(9:00~15:00) 舞台・展示・バザー</p> <p>参加団体数：舞台 12団体・個人 展示部門 22団体・個人 バザー部門 9団体・個人</p>
-------	---

事業コスト (単位：千円)	事業費	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(予算)
		749	1,166	1,360
		特定財源	0	
	一般財源	749	1,166	1,360

区分	単位	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(見込)
舞台部門	団体・個人	11	12	10
	展示部門	23	22	22
	バザー部門	3	9	7

事業の課題	<p>舞台発表の出演団体数が年々減少傾向にある。</p> <p>学校の働き方改革により学校行事としての参加も難しい状況。</p> <p>今後、村内の出演団体数が増えることが見込めないことから村外からの出演も含め検討が必要である。</p>
-------	--

事業の評価	<p>B</p> <p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	<p>令和5年度は、十津川村文化祭が舞台部門、展示及びバザー部門等を内容として開催されています。</p> <p>「文化祭」は、村で行われている文化活動を根付かせること、村民同士が触れ合う機会を持つ大切な事業であると考えます。出演団体数が増やすためにも村外からの出演も含め検討されることを期待します。</p>
--------	---

事業の方向性	<p><input type="checkbox"/> さらに重点化する</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する</p> <p><input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する</p> <p><input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する</p> <p><input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する</p> <p><input type="checkbox"/> 終了・完了</p>
--------	--

歴史・文化・芸術の振興に関すること

事業No.

37

事務事業名	村史編さん事業
-------	---------

事業の目的	令和2(2020)年に置村130年をむかえるにあたり、村民意識の高揚を図り、郷土への理解と愛着を深めるため、約60年ぶりに自治体史の編さんを行い、先人が築き発展させてきた想いと歴史を次代に継承し、貴重な遺産を十津川村の創造に繋げる。
事業の内容	歴史・民俗・自然・地理の4つの部会に分けて次の方針により調査・研究・執筆を行う。 (1) 十津川村の歩みを、様々な角度からアプローチして記録する。 (2) 地域に埋もれている未発見の史資料を掘り起こし、保存・活用する。 (3) 事業の過程で蓄積された資料、調査・研究の成果を事業終了後も十分に活用する。 『歴史資料編(近現代)』の刊行

事業コスト (単位：千円)		令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(予算)
	事業費	8,813	6,936	13,313
	特定財源	684	647	570
	一般財源	8,129	6,289	12,743

区分	単位	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(見込)	
取組内容及び成果	刊行物	歴史資料編(近世2) 自然資料編	歴史資料編(近現代)	歴史資料編(古代中世・文化財)	
	地理・自然編販売部数	部	61	37	20
	資料編近世1販売部数	部	337	52	20
	資料編近世2販売部数	部		185	30
	自然資料編販売部数	部		207	30
	資料編近現代販売部数	部			50
	資料編古代中世・文化財販売部数	部			

事業の課題	村史の刊行は順調に進んでいるが、一方では広報力が貧弱で地域への還元が不十分である。刊行もさることながら、事業の目的にもあるとおりこれからの村へ継承していく必要がある。例えば村広報への調査成果および史資料紹介の掲載、またケーブルテレビを用いた諸講座など、その仕方は多岐にわたる。村史の刊行と並行しつつ地域住民への成果還元も進めていく。
-------	--

事業の評価	B	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である
-------	----------	--

有識者の所見	歴史・民俗・自然・地理の4つの部会に分かれて調査・研究・執筆が行われています。令和5年度は、「歴史資料編(近現代)」の刊行が行われています。今後も先人が築き発展させてきた思いを次代に継承するためにもよりよい村史の編さんを行うとともに、地域住民への成果還元も進めていくことを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	---	--

社会体育施設の管理運営に関すること

事業No.

38

事務事業名	体育文化センター
-------	----------

事業の目的	村民がスポーツ活動や文化活動を行う場として開放することにより、村民の健康増進や生涯学習の推進、村民同士の交流の深化を目指す。
事業の内容	会計年度任用職員（3名）で管理及び清掃等を行い、村内の社会体育団体等に施設や備品の貸与を行っている。そのほか、文化祭や講演会の会場としても使用されている。 ※村内の社会体育団体等については使用料を免除 令和5年度は、ペレットストーブの修繕やトイレのバルブ交換を実施した。

		令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
事業コスト （単位：千円）	事業費	6,859	3,294	4,302
	特定財源	7	3	1
	一般財源	6,852	3,291	4,301

区分	単位	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）	令和6年度（見込）	
取組内容及び成果	利用者数	人	3,357	3,648	2,500
	使用料収入	円	7,700	3,600	1,000
	人件費	円	1,143,904	1,415,074	1,374,000
	施設維持修繕	円	1,715,514	251,295	439,000
	消費電力	kWh	39,441	40,236	60,903
	電気代	円	1,537,997	1,409,729	1,888,000

事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化により優先度をつけて順次修繕する必要がある。 ・非常用発電機の動作不良が確認されているため、早期の修繕が必要である。 ・施設備品の故障等多くあるため、順次買い換えが必要である。
-------	---

事業の評価	<p>B</p> <p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	「体育文化センター」は、村内の社会体育団体等に施設や備品の貸与、文化祭や講演会の会場としても使用されるなど、村民の健康増進や、生涯学習の推進、村民同士の交流の場として大切な施設であると考えます。令和5年度は、前年度と比べ利用者が1割程度増加しています。施設の老朽化など施設の管理・修繕等において課題がありますが、スポーツや文化において村民によりよい環境を提供されることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	--

社会体育施設の管理運営に関すること

事業No.	39
-------	----

事務事業名	十津川村民ひろば
-------	----------

事業の目的	村民がスポーツ活動や文化活動を行う場として開放することにより、村民の健康増進や生涯学習の推進、村民同士の交流の深化を目指す。
事業の内容	会計年度任用職員（3名）で管理及び清掃を行い、村内の社会体育団体等に施設や備品の貸与を行っている。そのほか、幼児の集団保育や講演会の会場としても使用されている。 ※村内の社会体育団体等については使用料を免除

		令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
事業コスト （単位：千円）	事業費	1,096	6,461	3,319
	特定財源	0	0	1
	一般財源	1,096	6,461	3,318

区分	単位	令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）	
取組内容及び成果	利用者数	人	1,369	951	1,200
	使用料収入	円	0	0	1,000
	人件費	円	395,009	390,518	1,374,000
	施設維持修繕	円	2,640	317,988	250,000
	光熱水費	円	656,553	613,525	1,008,000
	燃料費	円	0	4,224	19,000
	消耗品費	円	5,137	37,528	60,000
	電話料	円	22,397	22,270	24,000
	テレビ受信料	円	14,205	14,205	15,000
	地下倉庫設置工事	円	0	5,060,000	568,000

事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化により優先度をつけて順次修繕する必要がある。 照明に水銀灯を使用しているため、近年中に交換が必要である。
-------	---

事業の評価	<p>B</p> <p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>
-------	---

有識者の所見	「十津川村民ひろば」は、村民の健康増進や、生涯学習の推進、村民同士の交流の場として大切な施設であると考えます。施設の老朽化による修繕、水銀灯の交換など、今後も施設の修繕・維持に努められることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 終了・完了

スポーツの振興に関すること

事業No.

40

事務事業名	スポーツ推進委員
-------	----------

事業の目的	スポーツイベントの円滑な進行や、村民のスポーツ参加による健康増進等を図る。
事業の内容	<p>スポーツ推進委員 9名（男5名・女4名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃のスポーツ活動や、各種研修への参加を通じて、村のスポーツ振興に努める。 ・スポーツイベントの企画、検討及び運営を行う。 <p>シルバー運動会（6月28日）／チャレンジスポーツin十津川（10月1日）／十津川村駅伝大会（1月7日）</p>

		令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
事業コスト （単位：千円）	事業費	781	759	1,099
	特定財源	0	0	0
	一般財源	781	759	1,099

区分	単位	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）	令和6年度（見込）	
取組内容及び成果	スポーツ推進委員会議	回	4	5	4
	駅伝大会関係会議	回	5	6	5
	県協議会研修等参加人数	人（延べ）	10	8	15
事業の課題	各種スポーツイベントが徐々に再開し始めたが、シルバー運動会の参加者がまだ少ないため今後参加者を増加できるように工夫する必要がある。				
事業の評価	B	<p>A 十分成果が上がっている</p> <p>B 成果が上がっている</p> <p>C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある</p> <p>D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である</p>			

有識者の所見	<p>スポーツ推進委員は、スポーツイベントの円滑な進行や、村民のスポーツ参加による健康増進等において重要な役割を担っていると考えます。令和5年度において、新型コロナウイルス感染の時期と比べて各種スポーツイベントが徐々に再開し始めていますが、シルバー運動会の参加者が少ないなどの課題もあります。より多くの村民が参加するより良い運営のあり方をさらに検討されることを期待します。</p>
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	--

事務事業評価シート

スポーツの振興に関すること

事業No.

41

事務事業名	スポーツ・文化大会等出場者奨励事業
-------	-------------------

事業の目的	アマチュア競技の全国大会等に出場する個人又は団体に対し、奨励金を交付することにより、本村のスポーツ及び文化の振興を図る。
事業の内容	全国大会に出場する者に対し、1人あたり3万円（チームの場合15万円が上限）を交付する。

事業コスト (単位：千円)	事業費	令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
		30	30	180
		特定財源	0	0
	一般財源	30	30	180

区分	単位	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）	令和6年度（見込）	
取組内容及び成果	交付者数	人	1	1	6
事業の課題	令和5年度は1件の申請がありましたが、スポーツ・文化大会等出場者奨励事業の補助があることが多く知られていないため、広く広報を行う。				
事業の評価	B	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である			

有識者の所見	アマチュア競技の全国大会等に出場する個人又は団体に対し、奨励金を交付するスポーツ・文化大会等出場奨励事業は村内のスポーツ及び文化の振興に意義のあるものであると考えます。令和5年度も交付対象が1名となっています。今後、文化大会等出場者奨励事業の補助事業の広報をより広くされることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了

事務事業評価シート

スポーツの振興に関すること

事業No.

42

事務事業名	チャレンジスポーツin十津川
-------	----------------

事業の目的	誰でも参加できるスポーツイベントとして、村民がスポーツに親しみ、体を動かすきっかけを創出する。
事業の内容	陸上記録会とレクリエーション競技を半日のスケジュールで行う。参加したい人が参加したい競技にだけ参加できる方式とする。 ・陸上記録会（50m走・ボール投げ・走り幅跳び） ・レクリエーション競技（ホールインワン・輪投げ・くつ飛ばし）

事業コスト (単位：千円)		令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
	事業費	65	55	103
	特定財源	0	0	0
	一般財源	65	55	103

区分	単位	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）	令和6年度（見込）	
取組内容及び成果	参加者	人	40	62	70
事業の課題	令和3年度から始めたイベントで、年々参加人数は増加しているが、今後村民の認知度や参加意欲を得るための工夫が必要である。				
事業の評価	B	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である			

有識者の所見	「チャレンジスポーツin十津川」は村民が気軽にスポーツに親しむことができ、村民の健康・体力維持にも寄与する事業であると考えます。令和5年度は、陸上記録会とレクリエーション競技が開催されています。参加者も前年度と比較して3割程度増加しています。今後村民への周知方法や参加意欲を得る工夫などを行い、より良い事業になることを期待します。
--------	---

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	--

事務事業評価シート

スポーツの振興に関すること

事業No.

43

事務事業名	駅伝大会
-------	------

事業の目的	村のスポーツ振興と村民の親睦を図るとともに、村の一層の発展と活力ある村づくりに資する。
事業の内容	西川⇄上野地間の37.6kmを8区間で繋ぐ駅伝大会を開催する。 令和5年度は第70回大会にあたり、令和6年1月7日（日）9:00より、西川スタート・上野地ゴールで開催した。また、70回の記念大会でもあり新十津川町から1チームを招待した。 新型コロナウイルス感染症対策として、昨年度までは村内在住・在勤者のみを対象として開催していたが、今年度からオープンチームの参加を再開させ、開会式・閉会式も従来通り行った。

事業コスト (単位：千円)	事業費	令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
	特定財源	1,604	3,661	3,261
	一般財源	48	113	160
		1,556	3,548	3,101

区分	単位	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）	令和6年度（見込）	
取組内容及び成果	出場チーム数	チーム	16	27	40
事業の課題	トンネル内や、狭隘区間での選手の安全面について今後対応が必要である。				
事業の評価	B	A 十分成果が上がっている B 成果が上がっている C 十分に成果が上がっておらず、改善の余地がある D ほとんど成果が上がっておらず、抜本的な見直しが必要である			

有識者の所見	村のスポーツ振興と村民の親睦を図るとともに、村の一層の発展と活力ある村づくりに資する「駅伝大会」は意義高い事業であると考えます。今後、トンネル内や、狭隘区間での選手の安全面についての検討も行き、より良い大会にされることを期待します。
--------	--

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 終了・完了
--------	--

IV. 点検・評価のまとめ

(1) 点検・評価を行った令和5年度の主要な事務事業の今後の方向性について、集計結果は以下のとおりです。

事務事業の方向性	件数
さらに重点化する	4件
現状のまま継続する	26件
見直しのうえ継続する	12件
事業の縮小を検討する	1件
休止、廃止を検討する	1件
終了・完了	1件

(2) 有識者からの意見（総評）

令和5年度においても所期の目的を達し全般的に順調に事業の執行が行われていると考えます。

特に、学校教育・社会教育等に関わる「特別支援教育」「スクールカウンセラー派遣事業」「学校施設整備事業」「通学路事業」「二十歳を祝う会事業」においては当初の目的を達成し、大きな成果を得ています。高く評価します。

また、村独自の「学校給食無償化事業」「通学費補助事業」「修学旅行費補助事業」などは、保護者の子育てを経済的に支援し、子どもたちもが安心して教育を受けることができる大切な事業であると考えます。村民に寄り添った教育行政が進められており、高く評価するとともに、今後も継続・発展されることを望みます。

「歴史民俗資料館」「教育資料館」「むかし館」などの十津川村の歴史・文化に関わる施設が複数村内に設置されています。これらの施設は十津川村の歴史・文化等を後世に継承する役割等を担っているだけではなく、村内外に十津川のすばらしさを発信する重要な施設であると考えます。ただ、展示内容及び維持管理等の観点において課題がある施設があることも踏まえて、よりよい施設の在り方について更なる検討を期待します。

新型コロナウイルス感染症も徐々に収束する状況の中、交流事業・スポーツ及び文化イベント等も復活し、平素の状況を取り戻しつつあります。創意工夫をしながらこれらの事業に関わっている関係者の皆様に敬意を示すとともに、今後も村民の理解を得ながら教育行政をさらに推進されることを期待します。